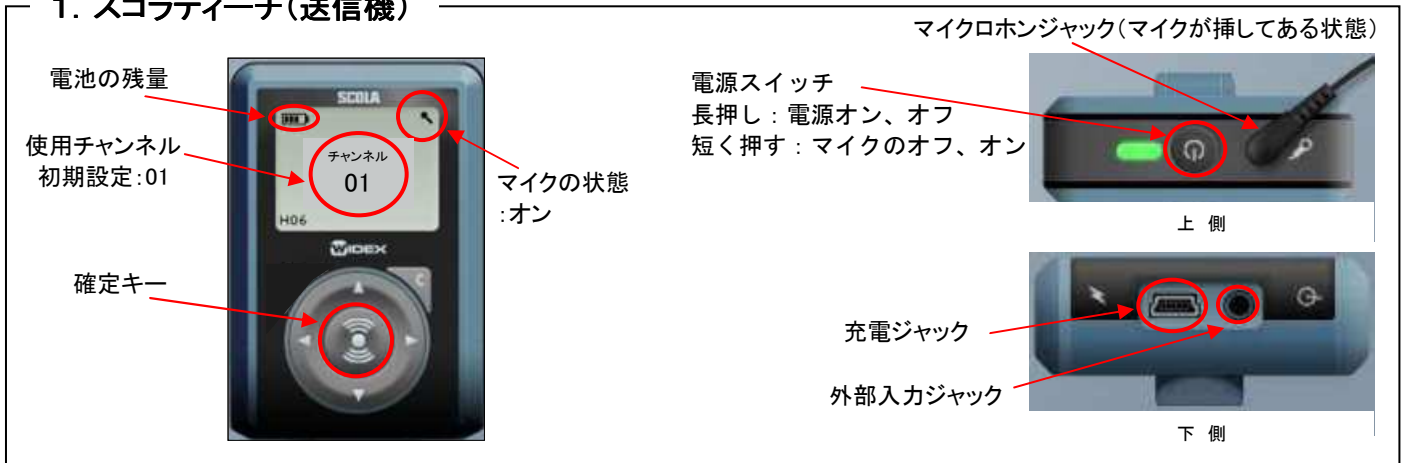


スコラティーチ基本操作説明

1. スコラティーチ(送信機)



2. スコラフレックス(受信機)

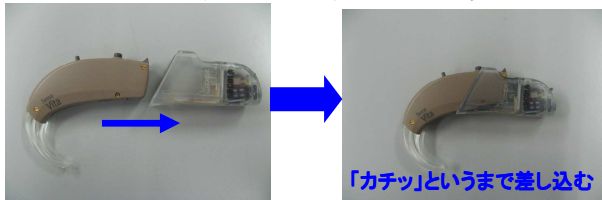
FM スイッチ 0、1、2
スキャンボタン
※出荷時の基本設定はオン(有効)です
スキャンボタンを押すと、チャンネルの
スキャンが始まります。

FM スイッチの説明
※SV シリーズを除く(SV シリーズは補聴器側で切り替える)

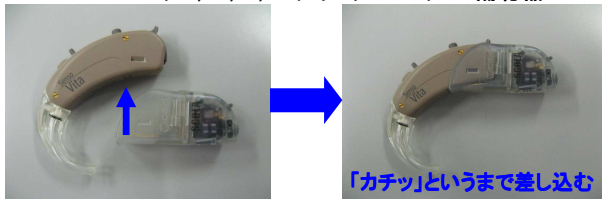
FM スイッチ	補聴器からの聞こえ方
2	FM の音と補聴器マイクの音が聞こえる
1	FM の音のみ(または優先で)聞こえる
0	受信機の電源オフ、補聴器マイクの音のみ聞こえる

3. FM シューの取り付け方と補聴器の設定

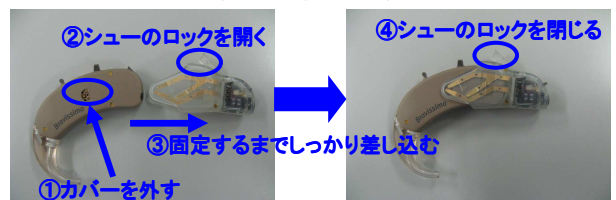
FM シューW5(-18、-19 タイプ)、W10(ISP 補聴器の-19 タイプ)



FM シューW7(B1,B2,-8,-9 タイプ)とW9(ISP 補聴器の-9 タイプ)



FM シューW6 (B32、BV-38、SV-38、P26)



FM シューW8 (B11、B12、C8+、C18+)



補聴器	FM 使用時の補聴器の設定
B1、B2、BV、SC、SD	補聴器の電源を入れた状態にする
ISP 補聴器 (FM シューW9、W10 で使用する場合)	
B32、BV-38、P26 (レバースイッチタイプ)	レバースイッチを M に切り替える
SV (SV-9、SV-19、SV-38)	T(FM のみ)または MT(FM+M)に切り替える

スコラ FM 設定(お控え用)

補聴器	
スコラティーチ (送信機)	
スコラフレックス (受信機) 左	
スコラフレックス (受信機) 右	

※スコラフレックスの設定変更を希望される場合は購入された販売店にご相談下さい。

メモ

●基本操作 ※専用充電電池の残量が少ない場合、一晩(約 10 時間)充電してからご使用ください。

1. 補聴器、スコラフレックス、FM シューを接続します(FM シュー W6、W8 は補聴器の電源を入れておく)。
2. スコラティーチの電源を入れ、専用充電電池の残量が十分あることを確認してください。
3. 補聴器の電源を入れ、FM 使用時の設定にします(1 ページ目の「FM 使用時の補聴器の設定」参照)。
4. スコラフレックスの電源を入れ、FM の音が受信できていることを確認してください。
5. ご使用後は、スコラフレックスのスイッチをオフ(スイッチ 0 の位置)にした後に、スコラティーチの電源スイッチを長押しして電源を切ります。

●トラブルシューティング

症状：FM の音が受信できない、または音が歪んでいる。

・補聴器、スコラティーチ、スコラフレックスの電源は入っていますか？

・FM 使用時の補聴器の設定は合っていますか？

・スコラティーチとスコラフレックスは、同じチャンネルを使用していますか？

弊社出荷時の設定を変えていない場合は、以下の手順でチャンネルを確認してください。

①スコラティーチのチャンネルが 01 に設定されていることを確認します。チャンネルが 01 でない場合、▲または▼ボタンを長押しし、チャンネル切り替えモードで 01 に変更して確定キーを 1 回押します。

②スコラフレックスの電源を入れなおします(電源を 1 度オフ(FM スイッチ 0 の位置)にしてから、再度オン(FM スイッチ 1 または 2 の位置)にする)。これでスコラフレックスの受信チャンネルは 01 になり、受信可能となります。

※弊社出荷時の基本設定は、スコラティーチおよびスコラフレックスのチャンネルは 01、スキャンボタンはオン(有効)にしています。

・補聴器、スコラティーチの電池の残量は十分ありますか？

専用充電電池の残量(画面の目盛り)がゼロの場合、電池を充電してください(専用充電電池以外での充電は不可)。

・FM シューが正しく取り付けられていますか？シューや補聴器に汚れはありませんか？

FM シューまたは補聴器側の接点部分に汚れがある場合、接触不良の原因になります。

症状：ノイズが入る。

・スコラティーチの通信範囲(最適な条件下で 20~30m)を超えていませんか？

電波伝搬の条件(金属製のもの、パソコン、蛍光灯など)によって通信範囲は変わりますが、できるだけ良好に電波を送信できるように**マイク兼用アンテナをまっすぐ伸ばして使用して下さい。**

・他のスコラ送信機(スコラトークなど)で同じチャンネルを使っていませんか？

近くで同じチャンネルを使用すると、電波同士が干渉してノイズが入ってしまいます。どちらかの送信機の電源をオフにする、または他のチャンネルを使用してください。

※取り扱いの詳細については取扱説明書「スコラフレックスおよびスコラティーチ」と「FM シュー」をご参照下さい。